

厄除祈願

一般に数え年で男性は二十五・四十二・六十一歳、女性は十九・三十三・三十七歳が厄年です。中でも男性の四十二歳、女性の三十三歳は大厄とされ、その前後を前厄・後厄といいます。

心身共に熟年に達し、社会的・家庭的・肉体的な変調や転機の時期であり、重要な節目になることが多いので、これらの歳を災いの多い年とするのは、単なる迷信とも思えません。こうした時、神前に参詣して自ら心を引き締め、誓いと覚悟を新たにすることは非常に意義のあることでしょう。

平成31年厄年表(数え年)

| 男性 | | 女性 | |
|--------|---------|--------|---------|
| 平成7年生 | 25歳 | 平成13年生 | 19歳 |
| 昭和54年生 | 41歳(前厄) | 昭和63年生 | 32歳(前厄) |
| 昭和53年生 | 42歳(本厄) | 昭和62年生 | 33歳(本厄) |
| 昭和52年生 | 43歳(後厄) | 昭和61年生 | 34歳(後厄) |
| 昭和34年生 | 61歳(還暦) | 昭和58年生 | 37歳 |

※当社では節分(二月三日・日)に厄除祈願を行っております。
午後九時まで随時受付
 尚、当日ご都合の悪い方はお電話にて他の日を御予約下さい。

おかげさま…

と、という言葉

「食べ物を粗末にしてはいけませんよ」、子どもの頃、苦手な食べ物を前に、親からそう言われた思い出はありませんか？
 太陽などの自然の恵みや、この世に生きとし生けるものの活力を戴いて、私たちは日々の生命を繋いでいます。お米の一粒一粒にも生命が宿っていることを「残さず食べなさい」と言われる



たびに教えられたものです。私たちは、大自然や人と人の関わりの中で、生き、生かされています。何かの折にふと口をついてこんな言葉がでてきます。「おかげさまで」。
 そう口にするたび、あらゆる恵みによって生かされているという心を思い出させてくれるこの感謝の言葉は、私たち日本人が抱いてきた素直な気持ちの現れなのです。

神前結婚式のご案内

檜の香り芳しい厳かな神殿において、お二人の誓いをお立てになりませんか。

当社では、お二人様だけの挙式から御友人の方々も御参列頂ける挙式まで対応させて頂きます。

挙式料：五万円
 お二人様だけの挙式の場合は応談

参列可能人数：五十名



● 神殿内は冷暖房を完備しています。また、駐車場から拝殿までスロープを利用して車イスのままご参列いただけます。

● 当社に披露宴会場はございません。

貸衣装のご紹介

「サカキバラ」

ブライダルサロンのご紹介

「Wedding絆」

「晴レの日」

※詳しくは各ホームページを御覧ください。

その他お気軽にお尋ねください。



国旗・神棚は当社でもお頒ちしております。(国旗一セット 千五百円・神棚 各種)

